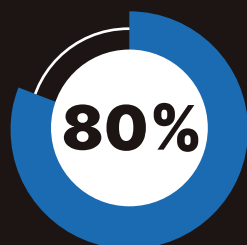
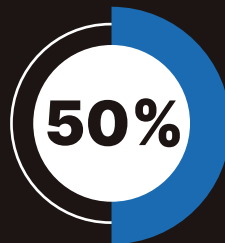


サーバーの迅速な移行を実現

データやワークロードの移行は負担ながらも回避できないイベントに



の企業が、2025年までにクラウド、ホスティング、コロケーションサービスに移行すると予測されています。¹



の企業が規制要件に直面し、アプリケーションとデータをクラウドに移行しています。²

クラウド移行に伴う課題はセキュリティ (73%)への懸念が最上位であるものの、互換性(45%)、データ品質(44%)、スケーラビリティ (35%)への懸念も見られます。³

スケーラビリティ

35%

互換性

45%

セキュリティ

73%

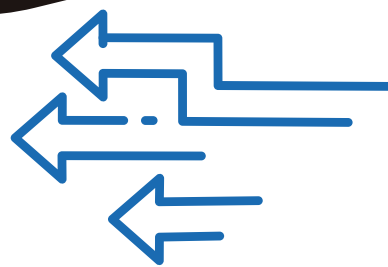
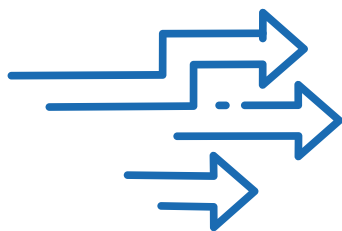
データ品質

44%

¹ The Economist: The world's most valuable resource is no longer oil, but data
² Tech Target: DRaaS guide: Benefits, challenges, providers and market trends
³ Infiniti Research Limited: Global Disaster-Recovery-as-a-Service (DRaaS) Market 2021-2025

ビジネスにおいて移行が必要になる理由

- 統合、および合併
- ハードウェアのアップグレード
- ソフトウェアやアプリケーションのアップグレード
- 既存ソフトウェアのサポート終了
- クラウドへの移行
- オフィスやデータセンターの移転



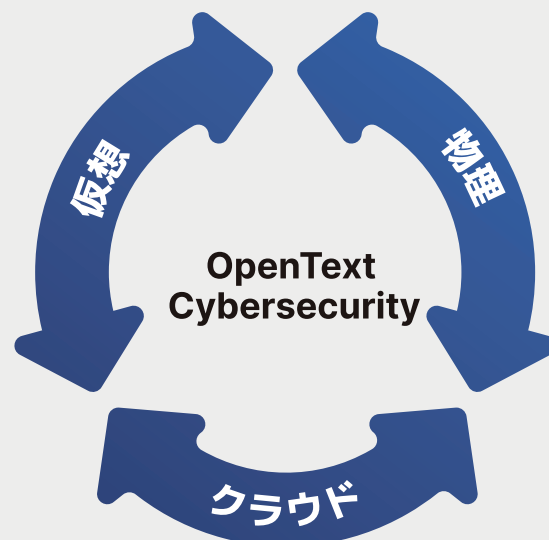
移行が先延ばし、または回避される一般的な理由

- ITリソース(時間、コスト)
- 複雑性
- ダウンタイムの発生
- データの破損や損失のリスク
- アプリケーション性能の問題

注文番号	商品名	税込組価
W2E00NF	Carbonite Migrate	49,989円

業界をリードするテクノロジーを搭載

- サーバー全体やデータのための移行が可能
- 多様なハードウェアやプラットフォームに対応
- リアルタイムでバイトレベルのレプリケーション技術により、物理的距離にかかわらずダウンタイムを最小化
- ワンクリックまたは自動で簡単にカットオーバー
- Hyper-VやvSphere上の仮想マシンを自動でプロビジョニング
- AES 256ビット暗号化でセキュリティを確保
- 圧縮と帯域幅のスケジューリングでWANを最適化
- 移行テストが可能



Carbonite® Migrateで各データに最適な環境を選択

OpenTextが提供できること

市場で数十年の実績を誇るクロスプラットフォームソリューションにより、「Any to Any」環境のシームレスなデータ移行を実現します。



数分でカットオーバーでき、リスクとダウンタイムをほぼゼロにまで削減



新しい環境を無制限にテスト



プロセスの各段階のオーケストレーションを自動化

お客様が実現できること



インフラストラクチャコストを削減し、余分な支出を節約(例: ホットデータとコールドデータの保管場所を分離し、コストを最適化)



ベンダー依存からの脱却でITアジリティが向上(例: ハイパーバイザー、ハードウェア、クラウドのあらゆるベンダーを利用可能)



大規模なワークロードの移行後もすぐに稼働可能

ご注文・お問い合わせはお近くの大学生協へ

詳細はWebをご覧ください

大学生協ソフト

検索

<https://software.univcoop.or.jp/>

